

令和7年度 柏崎小学校グランドデザイン



<当校の教育課題>

- ・自己有用感と夢や目標がもてる子どもの育成
- ・学力の向上 ・いじめ問題の解消
- ・不登校傾向児童への丁寧な対応
- ・規範意識、基本的生活習慣の定着

<経営方針のキーワード>

- 土台・根っこに「特別支援教育の充実」
- 「人権教育、同和教育の推進」を据える
- 子どもの幸福感を高める
- 職員チームとして支え合う
- 家庭・地域・中学校と協働する
- 居心地のよい教育環境づくりに努める

教育目標

しんの強い、しっかりした子ども

重点目標

「ゆめときぼう たのしくむねをはれる学校」

◎地域との連携

◎家庭との連携

◎幼稚園・保育園・第一中学校との連携

◎市教育センター、大学との連携

◎校内委員会等の充実

◎学校事務の共同実施との連携

表す

確かな学力の育成

<育てたい資質・能力(評価)>

- 基礎的・基本的な知識・技能 (ワークテスト：期待平均点以上)
(学年確認テスト：学年平均90点以上)
- 学びをつなげ深く考える力
(総合学力調査、ワークテスト等：全国平均、期待平均点以上)
(アンケート：肯定的評価8割以上)

具体的方途

- ◆「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業づくりを進める。
- ◆「ぐんぐんタイム・ミニマスタime・モーニングニュース・学年確認テスト」を活用し、基礎学力の向上、学習意欲の向上につなげる。
- ◆「個別最適な学び・協働的な学び」の実現を目指し、ICT を効果的に活用する。

思いやる

豊かな心をはぐくむ教育の推進

<育てたい資質・能力(評価)>

- 自分の居場所があり、人の役に立っているという意識
(アンケート：肯定的評価8割以上)
- 「つながりアン」(相手のことを優しく思いやれる人)を実践する行動力
(アンケート：肯定的評価8割以上)

具体的方途

- ◆子どもたち一人一人のよさを生かした学級づくりを進め、アンケート調査等を参考にして改善を図る。
- ◆児童会活動を中心に、自治的・主体的な活動を促す。全校SSEを実施する。
- ◆「思いやりレター」や「振り返り活動」を蓄積し、思いやり気持ちの言語化を繰り返し行う。

生きる

健やかな体をはぐくむ教育の推進

<育てたい資質・能力(評価)>

- 基本的な動きの習得、進んで運動に親しむ態度
(体力テスト：県平均以上・アンケート：肯定的評価8割以上)
- よい生活習慣を身に付けようとする態度
(アンケート：肯定的評価8割以上)

具体的方途

- ◆運動遊びを奨励し、運動習慣の定着を図る。
- ◆「楽しい」「できた」と実感できる体育・保健学習を積み重ねる。
- ◆家庭と連携して、「メディアルール」を共有したり「小中健康週間」を行ったりして、生活習慣の向上や食生活の見直しを図る。

特別支援教育の充実

◎一人一人の教育的ニーズに応じた全校体制による指導・支援

- みんなが「分かる・できる」授業づくり(学びのユニバーサルデザイン)
- 実態把握の充実と個別指導計画の活用
- 「すくすく相談」(保護者対象教育相談)通年実施
- 支援をつなぐ幼保・中・関係機関との連携

人権教育、同和教育の推進

◎差別やいじめをしない、許さない、命を大切にする態度の育成

- 「考え、議論する道徳」の推進、全校道徳の実施
- 副教材「生きる」シリーズ等を活用した授業づくり(学習参観)
- 学校いじめ防止基本方針の推進と見直し
- 職員の人権感覚を問い直す校内・校外研修の充実

シーズン1 4・5月

春:「であい・ふれあい」

えがおであいさつしよう

シーズン2 6・7月

夏:「かかわりあい」

ふわふわことばのわをひろげよう

シーズン3 8～10月

夏－秋:「たかめあい」

きづき・かんがえ・じっこうしよう

シーズン4 11・12月

秋－冬:「ささえあい」

いじめみのがしゼロにとりくもう

シーズン5 1～3月

冬:「みとめあい」

かんしゃのきもちをつたえよう